

第 83 回東京ビルメンテナンス政治連盟理事会議事録

開催日時 平成 27 年 7 月 7 日（火）午後 4 時～

開催場所 ビルメンテナンス会館 4 階会議室

評議員選考委員会報告

（１）平成 27・28 年度評議員の選出について

評議員選考委員会より、平成 27・28 年度の評議員 25 名を選出した旨の報告が、鷺見事務局長より報告された。

予定されている 7 月 28 日（火）の評議員会から出席を願うこととなる。

（２）理事・監事推薦委員の選出について

また評議員選考委員会は、役員改選に伴う理事・監事推薦委員として、平成 27・28 年度評議員より、坂上茂雄様（東京太平洋化工(株)代表取締役社長）、松井奈美様（ビルド・メンテナンス(株)取締役社長）の 2 名を選出したとの報告がなされた。

同評議員会において、理事・監事を推薦、提案し、決定する運びとなる。

審議事項

第 1 号議案 第 7 回評議員会の招集について

佐々木理事長より、改めて平成 27 年 7 月 28 日（火）午後 2 時より、評議員会を招集する旨の提案がなされ、全会一致で承認された。議題は、平成 27・28 年度の理事等の選任である。

第 2 号議案 第 7 回評議員会の進行について

鷺見事務局長より、第 7 回評議員会の次第案の提案がなされ、全会一致で承認された。なお、国会審議の都合がつけば、中川雅治参議院議員を、来賓として呼び出す方向で進めている。

また先日、厚生労働省から提示された改正品確法のガイドラインについて、意見交換等も行う予定である。

第 3 号議案 平成 28 年度東京都所有の建築物の維持管理に関する要望について

鈴木幹事長及び鷺見事務局長より、平成 28 年度都庁予算に向け、次の要望案が提示された。

- 1 改正品確法に基づく維持管理に関するガイドラインに関すること
- 2 総合評価制度及び複数年契約制度の拡充に関すること
- 3 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査に関すること
- 4 十分な予算措置及び適正な予算価格の設定に関すること

5 障害者雇用の促進に関すること

なお、価格点ではなくて技術点を重視した総合評価、社会保険加入状況の確認、知事登録の優先化等について、特に明確に要望する内容である。

また本件は、新体制となっている次回の理事会において、説明を加え採決の予定である。

報告事項

(1) ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドラインについて

鷺見事務局長より、厚生労働省から各官公庁、都道府県等に6月10日に出されたガイドラインの内容が、次のとおりであることが報告された。なお、名称に「ビルメンテナンス業」が出て来たのは画期的なことである。

- 業者の技術力により業務の成果に相当な差異を生じる場合には「総合評価落札方式」を選択しなさい。
- 「適正な利潤の確保のために予定価格の適正な設定を指示しています」と、指示書等に「適正な利潤確保」が入ったのは初めてである。
- 法令に違反して、社会保険等に加入していない業者の排除と、証明書類等の適正な確認等の措置を行うべき、としている。
- ダンピング受注防止をするために、請負契約に該当するものについては、低入札価格調査基準とか、あるいは最低制限価格を設けるなど十分に必要な措置を講じること。
- 適切な入札を行うために、市場における労務単価を適切に反映し、積算が実情と実勢取引価格と乖離することの無いように。

(2) 都議会自民党ビルメンテナンス議員連盟・財務局との意見交換会の実施報告について

政連、都議会自民党の議連、財務局の三者の意見交換会を6月18日に実施した。

厚労省から出された改正品確法ガイドラインに基づく適正な維持管理について、協会加入企業の加点評価について、履行評価について等に関し、都が用意してくれた資料もいただき、率直な意見交換であった。

(3) 6・7月の動きと今後の予定

6月、7月の動き、今後の予定について報告された。

なお、7月28日（火）午後2時からが評議員会である旨の確認がなされた。

(了)